

# 宮城県大崎市立古川西小中学校

所在地 : 宮城県大崎市古川渋井字全壮191番地

テーマ : 学校区の地域人材や公民館と連携した学習活動の充実

## <学校紹介>

本校は、世界農業遺産「大崎耕土」として、広域の水田農業地帯として発展してきた地域の中にあります。

また、今年度は旧高倉、志田、西古川、東大崎の四小学校と古川西中学校が統合し、大崎市初の義務教育学校として開校しました。主な特徴は次のとおりです。詳しくは、ホームページもご覧下さい。

### (1) 4・3・2制によるリーダー育成

前(1~4年)、中(5~7年)、後(8、9年)期の3つのブロックに分けて学校運営をしています。

### (2) 系統的な総合的な学習の時間

「西学(にしがく)」として地域の伝統文化の継承、体験活動の充実を図っています。

## <活動内容>

### A 地域貢献活動

#### (1) 7月19日(水)「居久根保全体験活動」【9年生】

学区内にある地域の方の敷地を学習場所とし、竹林伐採の居久根保全体験活動を実施しました。当日は、行政区長さん他5名の地域の方々が講師を務めております。



【7月19日の学習の様子】

### B 地区公民館学習

#### (1) 6月22日(木)「大雨特別警報から身を守る防災講話」【7年生】

9月8日(金)「河川氾濫発生状況から命を守る防災講話」【8年生】

地区公民館の出前講座として、防災学習の授業を行っています。講師は、公民館長や行政区長の方が務めています。

#### (2) その他

地域理解学習や福祉学習等において、公民館と連携した授業づくり(地域学校協働活動)を多く展開しています。



【9月8日の学習の様子】



【仙台放送 4月11日21:00配信】



【河北新報 令和5年4月23日掲載記事】

#### (2) 今後の活動計画

10月20日(金)【8、9年生】

「学区内にあるJR駅清掃ボランティア」

10月25日(水)【7、8年生】

「地域名所のハイキングコースのガイドボランティア活動」



【河北新報 令和5年9月16日掲載記事】